



東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和5年12月1日（金）No 30 発行
文責：松本 卓也

世代を超えて 明るい未来へ ～東陽町文化の祭典～



11月26日（日）、東陽スポーツセンターで「東陽町文化の祭典」が開催されました。昨年までの3年間は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からケーブルテレビでの撮影での参加でしたので、子どもたちにとっては、中学生になって初の観客を前にしての舞台でした。本番前は、かなり緊張しているようすも見られましたが、「箱石銭太鼓踊り」、「坂より上棒踊り」、「石匠太鼓」、それぞれの由来や意味、受け継いできた先人の思いを、勇壮かつ華麗な舞や力強い太鼓の音色で表現してくれました。子どもたちの地域指導者の方々へのお礼の手紙を一部紹介します。

- 【箱石銭太鼓踊り】：昔から受け継がれてきた文化や踊りを知ることができてよかったです。後輩や小学生に教えることはとても大変でしたが、相手への伝え方等、とてもよい経験になりました。指導者のSさんから踊りのコツ等、わかりやすく丁寧に教えてくださったお陰で、上手く踊ることができました。
- 【坂より上棒踊り】：指導者の皆さま、今年も教えてくださり、ありがとうございました。私は踊りが中央の後ろを担当することになり、動きが一つも分かりませんが難しかったです。動きを大きくしたり、キレをつけたり、動きを合わせることで難しかったです。来年は、もっといい動きができるようにしたいです。
- 【石匠太鼓】：伝統文化学習を通して、団結することの大切さを学びました。最初の方はまとまっていなかった演奏でしたが、Yさんのご指導のお陰で、みんなが団結しとてもいい演奏になったと思います。また、小学生と中学生の仲がより深まったと思います。



東陽に脈々と受け継がれてきた伝統文化、世代を超えて明るい未来に引き継いでいきたいと思います。これまでご指導いただきました地域指導者の皆さま方、大変お世話になりました。

京都で何を学びますか？～班別自主行動～

2年生は、明後日3日（日）から5日（火）にかけて関西方面へ修学旅行に行きます。2日目は、京都での班別自主行動を予定しています。21日（火）の学活の時間には、班毎に観光コースの計画を立てていました。「○○○を観にいきたい！」「○○○はどうか？」「何を食べる？」等々、楽しそうに話し合い、合意形成を図っていました。古都、京都の歴史や文化を学ぶとともに、なかまとのよりよい人間関係を築いてほしいと思います。



心の成長を支えます ～教育相談～

先月20日（月）から5回にわけて、2学期の教育相談を行いました。この教育相談は、「学校生活全般をふりかえり、生徒の思い、悩み等に寄り添いながら、一人一人の課題等に支援していく」ことを目的としています。学習や進路の悩みだけでなく、友人関係や生活習慣等々、子どもたちからはさまざまな相談がありました。担任の先生方は、傾聴・共感しながら望ましい在り方（なりたい自分）に向けてのアドバイスを行っていました。相談は、いつでも、担任以外の先生でも可能です。子どもたちの心の成長を職員全員で支えていきます。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）